

消費者と提携し地域農業を守る

下郷農協



2017

7 No. 671

July



晴天のもと北九州の児童が
田植えに挑戦

健康米生産者らと

稲作体験で交流



TPPを絶対に諦めない安倍首相

離脱した米国にはTPPプラス

日米・日欧FTA阻止し食の安心・安全を

代表理事組合長 矢崎和廣



米国TPP離脱の意図

長い間、農協系統が先頭に立ち反対運動を展開してきたTPP問題は、トランプ米大統領のTPPからの永久的な離脱宣言を受けて事実上TPPの成立は不可能となりました。

しかし、この期に及んでも日本は、国会議論や国民にしっかりと説明することなしにTPPを強行批准したのです。

一方で米国のTPP離脱の要因は、トランプ米大統領が「米国内第一主義」「米国内産品の利益と雇用増大」を訴える中、TPPは米国内産品の海外進出や外国人雇用の増大につながるとして離脱を宣言し、農業についてTPPよりも日本の関税を撤廃さ

せる日米FTAを推進していくという方向性を示しました。

TPPよりも強まる

農産物の自由化

安倍首相は、米国のTPP離脱でTPPが成立しなくなったにも関わらず、TPPを諦めずにも加盟予定だった十一ヶ国でTPP11として協議を重ね、米国の加盟せずとも成立するように成立基準を変更してでもTPPを発効させようとしています。

特に、先に述べたように米国は「そもそも日本はTPPを強行批准したので、その基準がベイスラインとして国際公約している」という認識に立ち、その上乘せをしたTPPプラスの交渉を行い、農産物はTPP以上に関税を撤廃させ、輸出を増やす事で米国内産品の利益と雇用が増やせるとしています。

だからこそ日本に対してはTPP以上の交渉が強まるのは必至であり、米国言いなりの日本

は譲歩を迫られ、日米FTAの成立となれば、TPPよりも一層強い農産物の自由化が予測されます。

農産物の自由化が

もたらすもの

安倍政権が進めるTPPでは、農業は「世界で勝負できる農業となるべく、規模拡大してコストダウンで輸出産業になる」とし、本来農業の基本となるべき家族農業は潰れても、ごくわずかな大規模経営、大企業が農業をやればよいという方向性です。しかし、それは国民の食料や農業、地域を衰退させてしまいます。

その上、安心・安全と言う点で、TPPの場合でも問題となつたように遺伝子組み換え(GMO)食品やBSEなどの不安は拭えません。

遺伝子組み換え(GMO)食品は、その表示義務がなくなる恐れや新たな牛のBSEの危険性もあり、基準や規制に一定程度守られてきた安心・安全が崩れ落ち、命に係わる事になりかねません。

食料自給率低下の危険性

「命」に係わる問題と云えば、日本の農業を国の基幹産業に据

えなくなる場合、現在でも三十九%と低い自給率はさらに低下し、TPPの発効では10%台まで低下すると言われています。

食料を外国に依存するという事がどういふ事を意味するのかを安倍政権はあまりにも軽視していると感じます。

現在、北朝鮮問題ではミサイル発射により戦争の危険が懸念され、米国をはじめ多くの国がその対応に苦慮していますが、やはり食料を絶ちエネルギーを絶たれば北朝鮮はミサイルを発射する事も出来ないし、軍隊も活動どころか生きて行けなくなります。

食料を外国に依存するという事は、外国に日本の存続を握られているのと同じなのです。

政府は、日本農業、あえて言えば家族農業が国民の命を守り、環境を守り、国土、そして地域を守っている事を再認識し、TPP、日米・日欧FTAを阻止し、日本農業を基幹産業としていく、併せて生産者と消費者が想いを共有して行動していく事が重要だと思えます。

引き続き、下郷農協は「消費者と提携し、地域農業を守る」を理念に頑張つて参ります。



「ゴキブリだんご」作り

下郷農協女性部

五月二十日の共同購入と併せて「ゴキブリだんご」を作りました。

毎年この時期に作っていますが、今年は『家の光』に掲載されていた作り方を参考に、米ぬかとホウ酸、グリセリンだけで作るだんごに挑戦しました。

米ぬかにホウ酸を加え、よく混ぜてグリセリンと水を足しな

がらこねて耳たぶくらいの固さになれば完成です。

グリセリンの保湿作用でしっかりとっているのです、ペットボトル

のキャップ等に詰めるのが良いとのこと、キャップに詰める

ころまでみんなでしました。そこから各自持ち帰って効

果を試すことになっていきます。今年の結果が楽しみです。



ホウ酸などを混ぜてゴキブリだんごを作る女性部員

ゴキブリだんごの材料

材料 (40～50個分)

- ・米ぬか……………70g
- ・ホウ酸……………20g
- ・グリセリン
- ……………小さじ2

・水……………30～40ml



梅雨に入りましたが、毎日暑い日が続いています。室内にいても熱中症になりますので、水分をしっかり摂るようにして下さいね。
デイケアでは、五月二十五日に防火訓練を行いました。火災発見から初期消火、利用者様の避難まで五分で行うことができました。空気がとても乾燥していますので、皆様も火の取り扱いには十分お気をつけ下さい。

こんにちは！デイケア元気村です

お楽しみレクリエーションで、あじさいのマグネット作りをしました。



とても可愛らしいマグネットが出来上がりました。

【7月の体験利用日のお知らせ】

- ・7月26日(水) 10時～16時
(1日でも数時間でも可。別日でも相談に応じます。)
 - ・料金…昼食代411円のみ
*1週間前までに予約をお願い致します。
- 送迎もできますので、予約の際にお知らせ下さい。

ご不明な点がございましたら、お気軽にご連絡ください。

デイケア元気村

56-2385

労農牛乳（耶馬溪牛乳）を支えた四十年 毎日集乳の曾我久雄さんへ感謝状

五月十九日に牛乳工場で、耶馬溪牛乳の特徴である『毎日集乳』の生乳輸送業務を四十年間の永きにわたり続けてこられた鎌城地区の曾我久雄さんへ、耶馬溪酪農組合と下郷農協からの感謝状贈呈式が、生産者・農協役員出席のもと行われました。

贈呈式では酪農組合役員の本参事より「鎌城酪農が六十二年前に始まり、その五年後に農協の牛乳工場が稼働、ピーク時の一九九六年前後は酪農家二十戸で十三トンを生産、一日三回の集乳をして頂いた時代もあった。大雪が降ればタンクローリー車の前後のタイヤにチェーンを巻いて鎌城台地から運んでもらう事もあり、酪農家と同じ毎日欠かせない仕事を今日まで続けて頂いた。」と経過を報告しました。

続いて、輸送業務の委託者を代表して山崎智広耶馬溪酪農組合長が「私たちに代わり悪天候

でも休むことなく運搬をして頂きました。また、家々を回りながら地域の営みを見守り集落の発展に貢献して頂きました」、下郷農協矢崎組合長は「生産者から工場の間を定刻に一日も欠かすことなく安定的に生乳運搬を継続され、鎌城地域と農協事業の発展に貢献して頂きました」とそれぞれ感謝状を読みあげ、記念品とともに贈呈しました。

出席者を代表し発起人のひとり田尻嘉郎理事から「今回の式は、継続性と使命感で四十年間集乳業に携わった曾我さんの貢献度を若い酪農後継者が改めて知る機会にもしたかった。乳牛の体内から工場まで一時間以内で良い菌を残す集乳が耶馬溪牛乳のもう一つの強みであり、それを陰で支えてくれたことに対して感謝の気持ちを示す意義は非常に大きい。」と語って頂きました。

最後に曾我さんより「四十年間を一言では表現できないが、

振り返れば農協本所の横に牛乳工場があり輸送乳缶での集乳からローリー車に代わっていった。一番の苦労はやはり冬場の雪道で、当時鎌城の道は一本しかなく下り坂では命がけの時が何度もあって目をつぶって下りる事もあったが、何とか今日まで無事にやってこられた。皆さんから感謝状を頂けてありがたい事です。」と謝辞を述べられました。



厳しい日本の酪農環境により、コスト削減で多くの産地が隔日での集乳をするなか、耶馬溪牛乳は生産者と工場が近いこともありすが、鮮度を一番に考え昭和三十四年の事業開始から一貫して毎日集乳を行ってきました。

この環境を支えてきたのが曾我さんです。一般のサラリーマンではすでに定年退職している年齢ですが、四十年間毎日休むことなく牛乳工場へほぼ定刻に生乳の輸送をして頂きました。

農協は生乳の全量買い取りを基本にしているため、販売事

情によっては農家の夜間集乳や宮崎県乳業メーカーへの配乳も行って頂き、農協経営の柱の一つである牛乳工場の稼働にも大きな貢献をしていただきました。また、生乳の輸送を通じて酪農の発展と同時に地域の成長も見守って来られた四十年間でした。

長い間お疲れ様でした。そして有難うございました。

（松本）



「毎日集乳」を支えた曾我久雄さん（写真前列中央）

『食育』の一環として

健康米生産組合と 田植え交流会



六月十日(土)、北九州市の学童クラブ「すだち」に通う児童五十三名が農協の牛乳工場そばにある健康米生産組合員の圃場で田植え体験を行いました。昨年は悪天候のため延期となり田植えが遅くなりましたが、今年はずつきりとした晴天のもと行うことができました。

まず生産者から手で植える際は中指と薬指を使いしっかりと押し込むことが大切と教わり、次に田んぼの両端に田植え紐を持った生産者が立ち、その紐に沿って児童が並び一斉に植えていきました。紐には三十cmほどの間隔で赤い玉がついており、それを目印にして三〜五本の苗を手に取り植えていきます。植え終わると後ろに下がり、紐を動かして次の列を植えるのですが、最初は田んぼに足を取られ全身泥だらけになったり、押し込みが足りず苗が

浮いてしまったりしてなかなか進みませんでした。だんだん慣れてくると植えるスピードも上がりしつかり植えられるようになりました。初めて田んぼに入る子どもたちからは「ドロの中は気持ち悪い」「足が抜けない」と言いながらも初体験の田植えを頑張りました。

昼食は農協の工場敷地内で生産者と一緒にバーベキューを楽しみました。組合員が生産した肉や野菜は児童たちにも大好評でした。秋には稲刈り体験交流会を予定しています。



田植え体験を通じ食と農を学ぶ子どもたち



熱中症は正しい予防法を知り

普段から気をつけることで防ぐことができます



適切な食事



適度な運動



十分な睡眠

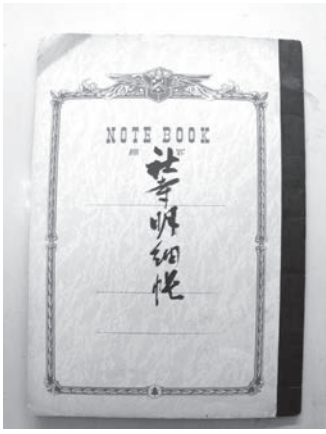
『気温と湿度を』いつも気にしましょう

『水分を』こまめに摂りましょう

【短編】最近の郷土史あれこれ その四 うえんはるの「ういちろうさま」④

筆者は、今年に入って耶馬溪公民館(サニーホール)の資料室を訪ね、耶馬溪町内の古文書等を閲覧した。そのとき偶然にも一冊の古いノートを発見したのである。その表紙には『社寺明細帳』とされ、手書きで山移の北辰妙見社(御嶽神社)に関する「幸右工門誌」(庄屋・幸右衛門氏所蔵の書の写しである)と、「下郷区神社書上帳(明治四年)」「下郷地区の寺・堂」について丁寧に書かれていた。おそらく、行政の担当者

者が調べて書いたものであろうが、残念ながら記載者不明である

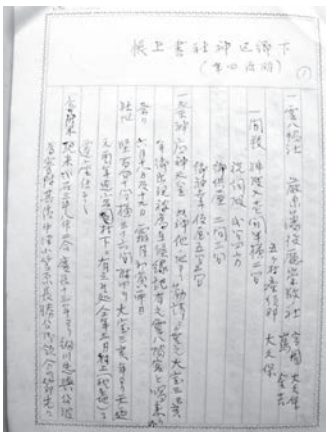


る。しかし、記されている内容は詳しく、『耶馬溪町史』の基礎資料にもなったノートではないかと筆者は思っている(このことについては別の機会に触れたい)。

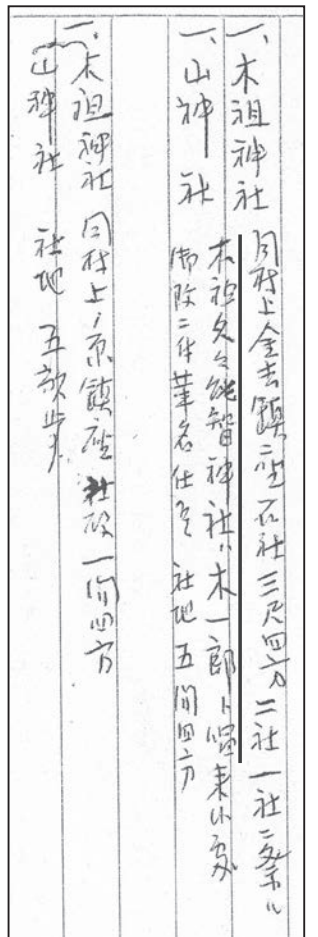
この中に「上の原のこいちろう神」もあった。

- 一、木祖神社 同村上金吉鎮座 石社云々
- 木祖久々能智神社 八木一郎卜唱
- 一、木祖神社 同村上ノ原鎮座 云々

つまり、「木祖神社が金吉上との原にあり、木祖久々能智神社は「木一郎」と唱え…」と記述の通りであれば「こいちろう」の字は『木



『社寺明細帳』に「木祖久々能智神社八木一郎卜唱云々」(太線部分)とされている。



一郎』であって、祭神は『久々能智』ということになる。

さっそく「久々能智」について調べてみると、『古事記』に登場する「木の神」で「久々能智」または「句句迺馳」とも書くとされていた。木の神であれば火事を防ぐ性格も持つであろう。火伏神であっても不思議ではない。このことをもってすぐに祭神は久々能智神であると決めつけるわけにはいかないが、こいちろう神の祭神を久々能智とするのはこの「社寺明細帳」だけではない。前号で引用した『民俗学研究所起用第二十四集 小一郎神信仰の地域的展開』の「表2 福岡県における小一郎神の事例一覧表」に、「木一郎様(新田三代・句句馳) 京都郡豊津町国作」とされている。

これらのことをふまえれば、こいちろう様の祭神を「新田義

氏や新田氏」とするよりも、もととは「久々能智(句句迺馳)」であったと考えるほうが妥当ではなからうか。

なお、これまで民俗学者等の調査で「こいちろう森」や「こいちろう藪」の存在も指摘されているが、これらと久々能智神との関係は語られていないようである。

こいちろう神についてあれこれ探ってきたが確証はない。しかし、新田義氏をはじめとする新田氏という武将の姿よりも、何か寛容な性格から「木の神・久々能智(句句迺馳)」とする説を支持したいような気分の中、今回は「うえんはるのこいちろうさま」についての考察を終えることにする。

購買部からのお知らせ

ふれあいの店では、盆提灯・盛り籠の取扱いをしています。

配達範囲は中津市内

盛り籠の価格は一個

10,000円（税込み）、**15,000円**（税込み）

お問い合わせ：購買部 越尾

TEL 56-2225（ふれあいの店直通）まで



店舗紹介

「みんなのお店やまくに」様

山国町内にあります「みんなのお店やまくに」様は、山国地域の買い物の利便性を高め、コミュニティの維持及び定住を目的とし、平成27年6月にオープンされました。下郷農協の乳製品や冷凍惣菜商品が店頭に並んでいます。人気商品は「耶馬溪牛乳」と店員の高倉さんが話してくれました。農協からの配達は火～金曜日です。

住所：大分県中津市山国町守実130番地

電話：0979-62-2140

FAX：0979-62-2204

営業時間：月～土 10：00～19：00

定休日：日曜日



『穀物水分計』の検診について

穀物水分計の検診を実施しますので、受検希望の方は8月17日(木)までに指導販売部（松岡）へ穀物水分計の持ち込みをお願いします。

- ・対象銘柄（メーカー）：ケット・サタケ・静岡製機
 - ・穀物水分計持込締切日：平成29年8月17日（木）まで
 - ・受検後の受け渡し日：平成29年9月4日（月）～
〔指導販売部で受け渡しします。〕
 - ・穀物水分計の検診料：1,630円（税別・期間内検診時）
- *但し、交換部品代・オーバーホール代は別途請求致します。



◎お問合せ：下郷農協 指導販売部 担当 松岡まで (Tel0979-56-2630)

『活動継続』で方針など承認

大地の会久留米が通常総会

六月十八日（日）産直大地の会久留米の第三十四回通常総会がえーるピア久留米にて、会員二十二名、農協より矢崎組合長・野菜組合・溝渕さん・指導販売部長の三名の出席で行われました。

最初に代表の緒方忠臣さんより「会の活動も不活発になっていく中で、今後の活動をどうするか班責任者会議で協議し、今後も活動を継続する事に決まりましたが、今日の総会でも意見があれば聞かせていただきたい。」と挨拶がありました。



農協商品に多くの意見・要望が寄せられました

続く矢崎組合長の挨拶では、現在の農産物状況・農協を取り巻く情勢等が報告されました。

また、「産直事業は農協にとって原点であり、消費者と提携し地域農業を守る理念からも、共に産直活動を頑張っていきたい」と呼びかけました。

溝渕さんは野菜生産者として「雨が降らないので生育に影響が出ないか心配しています。私も野菜作りはまだまだですが、期待に応えられるように頑張ります。」と挨拶をしました。

総会は議長に『豊かな大地』の店を運営する豊崎さんを選出し各議事を審議、満場一致で承認されました。

総会後に農協への意見・要望の時間を設けていただき、商品について多くの意見・要望が出されました。今回の要望を各工場に伝え、少しでも利用しやすいように取り組みます。

今後も役員さんと協議しながら、活動を進められるようになればと思っています。

（立花）

「共済の5年連続目標達成めざし」

全職員で推進大会

六月十四日、農協本所会議室で「二〇一七年度共済・ギフト推進大会」が、全職員参加のなか行われました。

大会では、矢崎組合長が「昨年度、共済推進目標を四年連続達成できたのは、職員が積極的に動いた成果だと思いき感謝しています。本年度も組合員の生命・財産を守る大切な保障として、五年連続目標達成をめざしてもらいたい。」とあいさつしました。

夏ギフトの取り組みについても、「組合員が作った農畜産物を自信を持って消費者に販売しよう」と、意義を確認しました。大会後、共済連大分県本部から講師を招き共済のポイントなどについての勉強会も行われました。

組合員の安心・安全を守るため、共済部を中心に全職員で推進に取り組み、「ひと・いえ・くるまの総合保障」で、今年度も「安心」「満足」をご提供いたしますので宜しくお願い致します。

人事異動

【採用】

六月五日付けで、今永直美（宇佐市）を採用、同日付けで牛乳加工部に配属しました。

【異動】

六月十五日付けで、金光夏子（大分信連下郷出張所出向）を、管理部へ異動しました。

読者プレゼント

パズル?

頭の体操



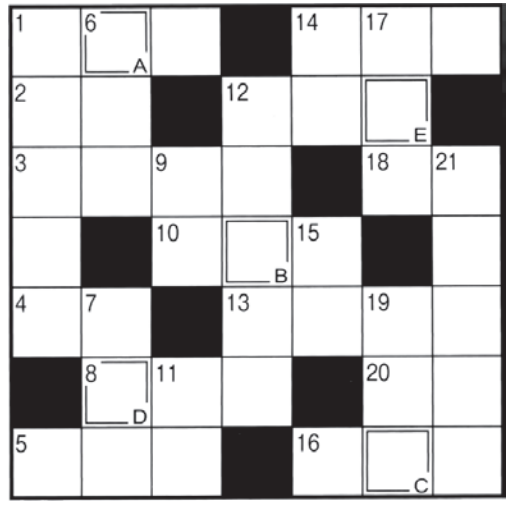
Q 二重マスの文字をA〜Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

タテのカギ

- 1 晩ご飯のこと
- 6 チョコレートの原料になる植物
- 7 ビー玉を押し込んでから飲みます
- 9 コンコンとノックする物
- 11 鉛筆を削って出します
- 12 泳げない人の強い味方
- 14 ハチドリやチョウが吸います
- 15 電話では——が明かない。会って話そう
- 17 今日が終わるとやってくる
- 19 野球の打者が振ります
- 21 頭文字のこと。佐藤さんならSです

ヨコのカギ

- 1 夕涼みや花火大会に似合う着物
- 2 サナギからチョウに——した
- 3 物事を行うのにちょうど良い頃合い
- 4 馬の背に置きます
- 5 絵柄の美しい——切手を買った
- 8 わらなどを編んで作る敷物
- 10 ナタネやゴマなどを搾ると取れます
- 12 原本からコピーした物のこと
- 13 キツツキが木に穴を開けるときに使う物
- 14 世話人に頼む、昔ながらの婚活
- 16 ——キープ。ペット——
- 18 東南アジアの国。首都はバンコク
- 20 革靴や家具を磨いて出すことも



先月号のこたえ



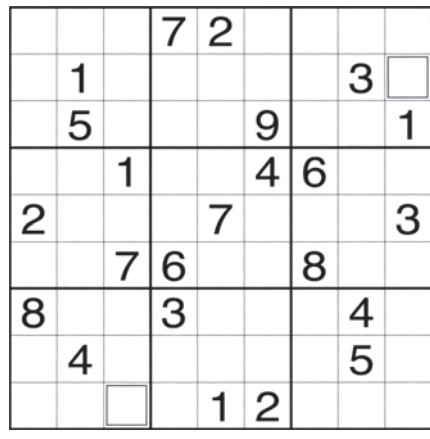
先月号のこたえ 「ラッキョウ」
 当選者 東京都板橋区 高橋 史隆 様

先月号のこたえ

3	6	9	5	1	8	7	2	4
5	1	8	4	2	7	6	3	9
2	4	7	6	9	3	5	8	1
4	9	1	8	7	6	2	5	3
8	5	2	9	3	4	1	7	6
7	3	6	2	5	1	4	9	8
6	7	4	3	8	5	9	1	2
9	8	5	1	6	2	3	4	7
1	2	3	7	4	9	8	6	5

先月号のこたえ ⑤+⑥=11
 当選者 東京都品川区 佐藤 星子 様

解答は次号で



①《数独のルール》
 ①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
 ②タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ?

数独 (すうどく)

応募方法

クイズの正解者の中から抽選でそれぞれ一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

応募締切は二〇一七年七月二十日(必着)です。

- ① クイズのこたえ A B C D E (パズル? 頭の体操の場合) クイズのこたえ 数字の合計 (数独の場合)
- ② 住所・氏名・電話番号
- ③ 下郷農協へのご意見ご要望など以上をご記入の上、ハガキの方は〒八七一一〇四三一

大分県中津市耶馬溪町 大字大島 二一五一四
 下郷農協 企画部 宛
 Faxの方は
 ○九九九一五六―二八八九

*個人情報他者への開示は一切致しません
 が当選者のみ紙面で公表させていただきます。

当選者には農協商品をお届けします。

一枚のハガキ・FAXで
 どちらにも応募できます!!

下郷のHPの
 応募フォーム
 から応募
 できます。

